

	<h2>ジャンルの垣根を越えた アーティストたち</h2>	AAFC 例会資料
		2012/08/12
		担当 : 山崎 光明

普段私はジャンルにこだわることなく音楽を聴いていますが、中にはジャンルの垣根を越えた表現をしている音楽があります。私はそういう音楽に魅力を感じる事が多いので、今日はそんな音楽をPCオーディオにて再生して紹介したいと思います。

今日紹介する曲は、ジャンル分けでは「ニューエイジ」というジャンルに分けられることが多い音楽です。「ニューエイジ」という言い方は、個人的には好きではないので私は使わないのですが、一応以下にウィキペディアから抜粋し引用しておきます。

-----引用開始-----

ニューエイジ (New Age) とは、字義どおりには「新しい時代」であるが、新しい世界、新しい思想を含意する。この表現の背景には、ヨハネの黙示録に見られ、一部のキリスト教徒が採用している千年思想がある。

すなわち、神と悪魔の戦いが千年続き、最後に神が勝利して、ニューエイジ=新しい世界がやってくるというものである。基本的には、伝統的な教えの中から、古くて役に立たない教えを廃し、真の意味での教えを明らかにしようという運動である。

ただし、現在「ニューエイジ」(ニューエイジ・ムーブメント、ニューエイジ運動)と言うときには、アメリカ合衆国、とりわけ西海岸を発信源として、1970年代後半から80年代にかけて盛り上がり、その後商業化・ファッション化されることによって一般社会に浸透、現在に至るまで継続している、霊性復興運動およびその生産物全般、商業活動全般を指す場合が多い。

-----引用終了-----

<使用機材>

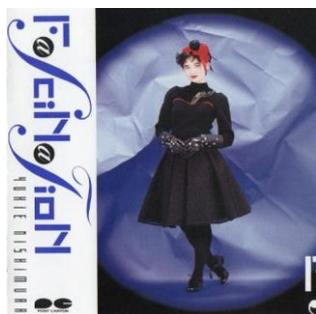
ノートPC : レノボ S10e、OS : WindowsXP SP3、ソフト : foobar2000

ハードディスク : バッファロー HD-LBU2

USB-DAC : RME Babyface、ブレイクアウトケーブル : オヤイデ オーディオみじんこモデル

USBケーブル : WIREWORLD ULTRAVIOLET、FURUTECH GT-2

西村由紀江「やさしさ」(1988) アルバム「Fascination」に収録



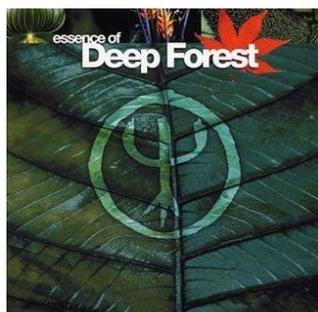
西村由紀江は作曲家、ピアニストとして活躍している方です。

テレビドラマや映画の音楽を担当することも多いですし、楽曲がいろいろな場面で使われているので、意識せずに聴いたことがあるという方が多いと思います。

この曲はとても有名で人気のある曲で印象的なメロディなので耳にしたことがある方も多いのではないのでしょうか。

ディープフォレスト 「Sweet Lullaby」 (1993)

アルバム「エッセンス・オブ・ディープ・フォレスト ~ベスト・オブ 1994-2003」に収録



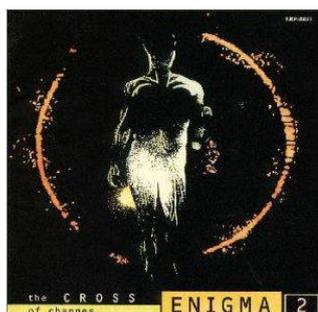
ディープフォレストは、フランス人のエリック・ムーケとミッシェル・サンチェーズによるユニットです。

世界の民族音楽と電子音楽を中心とするポップスの融合を果たし、独特の音楽を展開して音楽シーンに大きな影響を与えました。

この曲は 1993 年のグラミー賞でベスト・ワールド・アルバム賞に輝いた 1992 年のアルバム『African Calling』に収録された彼らの代表曲と言える曲です。

エニグマ 「Return To Innocence」 (1994)

アルバム「エニグマ2 ザ・クロス・オブ・チェンジズ」に収録



Enigma (エニグマ) はドイツを活動拠点としていて 1990 年に結成された。民族音楽や古典音楽などをダンスビートと融合させた音楽を特徴としています。

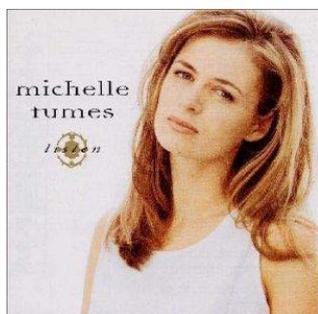
1990 年の暮れグレゴリオ聖歌をサンプリングしてダンス音楽にしたシングル「サッドネス」をリリースし、翌年世界中で大ヒットしてその名が知れ渡るようになりました。

この曲は 2nd アルバムに収録されている曲で、台湾アミ族の歌手である Difang(郭英男)の歌声をフィーチャーしています。

この曲によって「台湾原住民」の音楽が世界的に注目されるようになりました。

ミシェル・トゥームス 「Listen」 (1998) アルバム「Listen」に収録

ミシェル・トゥームス 「My Constant One」 (1998) アルバム「Listen」に収録



ミシェル・トゥームスはオーストラリアのシンガー・ソングライター、ピアニストです。1998 年アルバム『Listen』でデビューしました。

一人コーラスによる多重録音が印象的な楽曲を特徴としています。

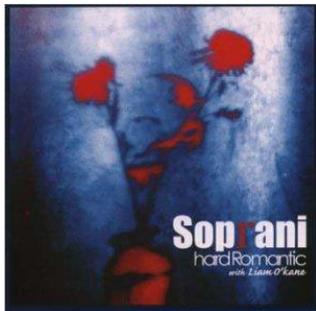
教会音楽を背景としていて、歌詞にその影響が見られるためコンテポラリー・クリスチャン・ミュージックのアーティストとして広く知られています。

自作曲 タイトルなし(1992)

一人多重録音のコーラス曲を一度作ってみたいと思って作った曲です。そう思ったきっかけはエンヤの曲でした。

ハード・ロマンティック 「The Lark in the Clear Air」(1999)

アルバム「SOPRANI」に収録



ハード・ロマンチックはサウンド・プロデューサーやアレンジャーとして活躍する大橋宏司を中心とするユニットです。

1980年代前半から多くのCMやファッション・ショーの音楽を手がけ、その美しく癒されるような独特の世界が高い評価を受けています。

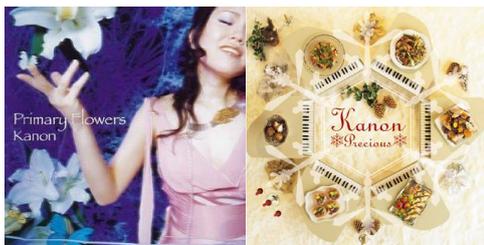
彼自身が弾くアコースティック・ピアノにコンピュータ処理を施した、独特の透明感を持つ「ベルベット・ピアノ」が特徴的です。

この曲はリーアム・オーケンの美しい歌声が印象的な曲です。

高音質な録音で定評のある赤川新一がレコーディングし、HDCDにて収録されているため素晴らしい音が楽しめるアルバムです。

カノン 「Wings to Fly~翼をください」(2005) アルバム「Primary Flowers」に収録

カノン 「Kyrie~荒野の果てに」(2007) アルバム「Precious」に収録



カノンは日本人のクラシックとポップスを融合した「クラシカル・クロスオーバー」アーティストです。

"Wings to Fly~翼をください"はNHKの朝の連続テレビ小説「ちりとてちん」にて挿入歌として使われた際に問い合わせが殺到したそうです。

最近ではゲーム音楽やアニメなどとコラボレーションするなどして、その方面でも名が知られています。

上間綾乃 「太陽 月ぬ光~アメイジング・グレイス」(2012) アルバム「唄者」収録



上間綾乃は沖縄出身の民謡唄者で、東京と大阪にて三線教室を開催しています。この曲は今年発売されたメジャーデビューアルバムの「唄者」に収録された曲で、その美しい歌声とウチナーグチの歌詞によるアメイジンググレイスということでとても話題になりました。